



世界文化遺産都市 慶州

新羅千年の首都 BC 57 ~ AD 935

ユネスコ世界文化遺産 4ヶ所(122点)

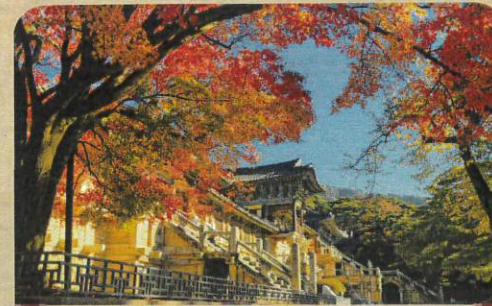
- ・佛國寺・石窟庵(1995)
- ・慶州歴史遺跡地区：南山・皇龍寺・月城・山城・大陵苑(2000)
- ・韓国の歴史村良洞：良洞村・玉山書院・独樂堂・東江書院(2010)
- ・韓国の書院：玉山書院(2019)

国家指定文化財 228点(全国の4.7%)

- ・国宝(34)、宝物(93)、史跡(77)、天然記念物(5)、無形文化財(4)、民俗文化財(15)、登録文化財(2)

アクセス

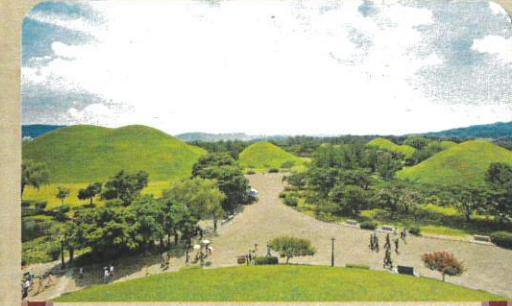
- ・金海国際空港(釜山) → 慶州(リムジンバス) 約1時間
- ・ソウル駅 → 新慶州駅(高速鉄道KTX) 約2時間



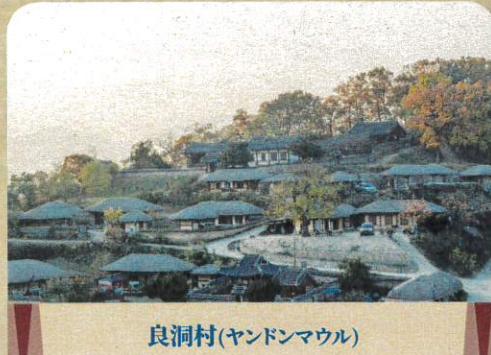
佛國寺(ブルグッサ)



石窟庵(本尊佛)



慶州歴史遺跡地区



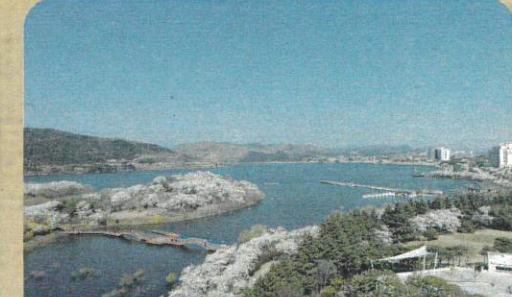
良洞村(ヤンドンマウル)



東宮と月地(雁鴨池)



皇理團(ファンリダン)通り



普門(ボムン)観光団地

良洞村は500年の歴史を受け継ぐ韓国の代表的な伝統村である。昔の建築と生活様式の伝承・保存が認められ、東洋書院、玉山書院、独樂堂と共に世界文化遺産に指定された。朝鮮時代の貴族住宅を含む150軒余りの瓦屋と茅葺き屋根が古色蒼然としている。慶州孫氏と麗江李氏の両一族によって形成された集落村で、多くの人材が輩出された村である。ここでは昔の環境と生活様式が観賞でき、儒教の伝統文化や慣習、古宅体験もできる。

東宮と月池は家国の慶事を迎え祝宴が開かれた東宮で文武王19年(679年)に建てられた。月池は「宮中に池を掘って草花を植え、不思議な獸を育てた」と三国史記(文武王14年)に記録されており、君臣の宴会や貴賓接待用の場としても利用された。月池は東西南北約190m規模の人工池で、朝鮮時代からは「雁鴨池」とも呼ばれた。また、2011年に「東宮と月池」という名前がつけられた。夜の闇が訪れて東宮と月池の主要な建物がライトアップされると、鮮やかな東宮と月の池の夜が始まる。

大陵苑横の閑静な韓屋の住宅街に韓屋ホテルが建ち、プランチカフェが開いて賑やかになった。皇理團通りは慶州で最も新しい道である。2~3年前から若者たちが集まり始め、雰囲気の良いカフェ、可愛らしい雑貨ショップ、お土産専門店、個性的なレストランが建ち並んだ。今この瞬間も皇理團通りでは、新しいお店がオープンの準備をしている。鮑石路の沿道だけでなく、皇南洞と道の向かい側の沙正洞の路地、大陵苑の西側の石垣に沿ってたくさん店が建ち並んできている。話題になっている次元を超えて慶州旅行に欠かせない必須コースになっている。

普門湖は165万m³(50万坪)規模の人工の湖で、周りには国際的規模のホテルや慶州ワールド、各種の娯楽施設や公園などが揃っている。湖に添って遊歩道やサイクリングコースがあり、ハイキングコースとしても人気がある。普門湖周辺には世界文化エキスポ公園、ハイコ(コンベンションセンター)、韓国大衆音楽博物館、慶州東宮苑、遊覧船の先着場、普門商店街、ゴルフ場、善哉美術館、野外公園場などがあり、春には満開の桜が映画のワンシーンのようなロマンチックな雰囲気を演出する。